

合格体験記

三重大学 看護学科合格

永田 瑞穂(46 回生)

岡崎市立矢作北中学校出身

私が受験で意識したことは定期テストや普段の授業を十分に活用することです。

私は1、2年生の頃は勉強があまり得意ではなかったのですが、この時期のテスト週間はどんな勉強方法が自分に合っているのかということ色々試していました。自分にとって勉強が苦にならないやり方を見つけることができたことが受験期を乗り越える上でかなり大きかったです。また、テストの範囲表が配られた時点で、すぐに計画を立てていました。やり始めた当時は受験を意識したりしていたわけではなかったのですが、受験期になると、計画的に勉強していくことが必要になってくるため、やっていたよかったです。特に夏休みは膨大な時間があるので、その時間をできるだけ無駄にせず自分の力にするためには、計画をしっかり立てられる力があると強いと思います。テスト週間は部活もなく、受験期に近い状態で勉強に取り組めるので、この1週間だけでも受験を意識して、しっかり勉強と向き合うようにしていました。

苦手科目の克服には、授業や課外を活用しました。苦手科目はどうしても他の科目に逃げたくなってしまっているので、授業の50分だけでも集中して受けるように心がける

のに加えて、課外授業に参加するなどして、しっかりとその科目に向き合う時間をつくるようにしていました。目の前の授業などに真剣に取り組むことは、自分で新しい教材を買ったり、他の勉強をしたりすることよりも、学力をつける1番の近道だと強く思います。記述問題や小論文の添削指導やわからなかった問題の解説、面接指導など、先生方の支えの存在もすごく大きかったです。

受験は辛く厳しいものですが、最後まで諦めずに、油断をせずに頑張りきれればきっと合格が見えてくると思います。